

# わたしと福祉

「大文夫」このたった三文字が、私を強くする。／自分を支えてくれている人たちの大切さを改めて伝えた。／「自分らしく生きる」って最高。／自分の言葉で素直に表現することができ、自信が持てました。／伝えようとする気持ちと行動で

人とは違いますが、いずれ教科書にも載るであろう歴史的な状況下で、当たり前へのありがたみを記録に残したい。／優しくなることは知ることなのだ。／エッセイがこうして皆様の目に触れる事はとても恥ずかしいですが、何か意味のある事と感ずります。／声をかけてもらえるだけで、痛さも和らぐ気がする。／人っていいなと感じた記憶が蘇りました。／普段のたわいもない動きには、沢山の言葉が詰まっている。／日常のありふれた当たり前の幸せがとても大きな幸せであることに気づかされました。／祖母と私の心は、ピアノを通して繋がっているような気がする。

がする。／文章を通して自分の思いや考えを表現していきたい。／温かい応援の言葉から、日常生活の活力をもらっている。／コロナ禍だからこそ何か1つ成したい、という思いで応募を決めました。／私の心の扉を開

今、自分たちにできる事を一人一人が自覚し、一步一步前へ進んでいくことがコロナに対する私たちの「協力」の形であると思っています。／笑顔と笑顔を分けたい。笑顔溢れる日々を過ごしてほしい。／コロナがきっかけで、一言で、私は新たに生きがいを見つけました。／自分が誰かのためにできることがあるなら、なんでもしたい。／そう思った言葉だった。／たかさんの人の気持ちに寄り添えるような人になれる。／あなたにはあんなに生きていますか。私は私。あなたはあなた。／このエッセイを通じて誰かが少しでも自分らしく生きられるようにならなうと思っています。／皆が暮らす社会を実現するために、自分に今何が出来るか。／このエッセイを通して少しでも多くの人に問題を身近に感じて考えてもらえたらいいな。／福祉は私にとって自由かもしれない。

これから出会うであろう全ての人の共感者になることをあきらめない。／「自分のことを共感してくれる人が一人でもいたらうれしいな」という思いでエッセイを書いていた。／小さな子の笑顔は何より私に勇気をくれる。／全ての子どもたちが笑顔で過ごせる社会になるために。／声をあげずに社会に適応しようとする人々が、大勢いるはずだ。／福祉はとも日常のな事で、こんな状況だからこそ多様性を認める福祉が必要なのだと思います。／全ての子どもたちが笑顔で過ごせる社会になるために、これからも自分の使命を追求していきたい。／高校2年生となり進路を考える上でも、福祉というテーマには向き合ってもらいたいと考えていたところでした。／障害者や高齢者問題としてだけ捉えるのではなく、広い視野で自分や周りを振り返るきっかけになってほしい。／このエッセイを通して、福祉を幅広く捉え、ひとりひとりが福祉について考えてほしい。

ある日突然、いままでとはちがう毎日がやってきました。  
学校に行けない、外で遊べない、友達にも会えない――。  
苦しかったり、辛かったりすることもあるかもしれない。  
だけど、「いま」だから伝えたい想いもあるかもしれない。

そう考えて今年もエッセイを募集したところ  
国内外から8,193人も高校生たちが、「いま」思うことを伝えてくれました。  
学校も、学年も、性別も、育った環境も、趣味も、部活も、みんなバラバラ。  
それでも日々の生活の中でハッと感じるしあわせは、  
「いま」の時代でも変わらず通じるものがありました。  
「わたしと福祉」。このコンテストがこれからもみなさんと福祉について  
考えるきっかけであることを願います。

今年入賞した個人賞18名、学校賞14校のみなさん、おめでとうございます。  
そして素晴らしいエッセイをありがとうございます。

## 第18回高校生福祉文化賞エッセイコンテスト テーマ「わたしと福祉」

第1分野「ひと・まち・暮らしのなかでわたしが感じていること」  
最優秀賞 桑山 涼花さん(北九州工業高等専門学校2年)  
優秀賞 杉山 鴻希さん(岐阜県立揖斐特別支援学校2年)  
池谷 麻菜さん(Kalani High School 2年)  
入選 工藤 有紗さん(女子学院高等学校1年)  
山本 彩佳さん(桜美林高等学校2年)  
辰澤奈緒子さん(学習院女子高等科2年)

第2分野「スポーツ・文化活動とわたし大切にしていること」  
最優秀賞 宮原 穂さん(女子学院高等学校3年)  
優秀賞 阿部 空也さん(奈良県立青翔高等学校2年)  
吉沼 直毅さん(早稲田大学高等学院3年)  
入選 清水 大智さん(早稲田大学高等学院1年)  
梅原 まほろさん(静岡県立清流館高等学校1年)  
伊奈穂乃佳さん(日本福祉大学付属高等学校1年)

第3分野「すべての人が幸せであるためにわたしが考えるこれからの社会」  
最優秀賞 佐久間 華香さん(岐阜県立恵那那農高等学校3年)  
優秀賞 渡邊 真生子さん(日本女子大学附属高等学校2年)  
田島 大地さん(三重県立特別支援学校西野にじ学園2年)  
入選 伴 穂乃香さん(愛知教育大学附属高等学校2年)  
野尻 亜沙美さん(日本女子大学附属高等学校1年)  
富沢 大輝さん(早稲田大学高等学院3年)

優秀学校賞: 学習院女子高等科、済美高等学校、北九州工業高等専門学校  
奨励学校賞: 青森県立八戸高等学校、千葉学芸高等学校、流通経済大学付属柏高等学校、田園調布学園高等部、明星高等学校、早稲田大学高等学院、岐阜県立恵那那農高等学校、日本福祉大学付属高等学校、三重県立宇治山田高等学校、博多女子高等学校、福岡県立稲葉志耕館高等学校

